

大野市報

(第10号)

発行所 福井県大野市役所
 編集人 大野市役所総務課
 印刷所 大野市印刷所
 電話代表 大野900番
 印刷所 大野印刷所



(写真)は新年度施政方針演説中の齋藤市長(立っている人)

総額三億二千七百七拾三万余円
 一般会計 一億八千七百二拾三万四千余円
 特別会計 四千四拾九万二千余円
 昭和三十年度の予算決る

昭和三十年度の予算決る

昭和三十年度当初予算、その他重要議案を審議する第七回定例市議会は三月十日午前十時から下庄交所で開かれた。齋藤市長より提案の昭和三十年度予算編成の説明概要次の通り

入野市建設五カ年計画を基礎におき、市政施行後半の経過により市民の世論を織り込んで編成した予算案の重点を土木建設対策、農産振興対策、厚生援護、中小企業育成及び学校教育施設に力点をとおした。

土木建設対策総額三千七百拾四万円を計上、延長三百四拾拾に亘る市道および三百三拾九橋、一〇米の橋梁の維持補修を行う為現在の定役夫三人を六名に増員、三輪自動車一台を新に購入、市道全般的砂利盛りと維持補修に当らせ、旧町村間の交通を便ならしめ産業開発に役立つ新設市場の計画、その他河川都市計画費を計上した。

農林業振興対策として三千四百拾万円を計上、農務課所管が

の新築も計画している。
 ◆保健衛生関係は簡易水道の施設の拡充、各種伝染病予防、火葬場隔離病舎、汚物掃除に万全を期したい。
 ◆商工業関係は一千三百六拾八万円を計上し、中小企業者に対して金融難の緩和を図り、その他協同組合の協同施設に対する助成、

一千九百九拾万円、食糧増産奨励費、保温折衷苗代設置補助、その他農作物種子更新、病虫害防除費補助、耕土培養補助、農産振興諸団体の育成費、福原県単灌排水道、区画整理、容土事業、その他真名川水利事業、地元負担金の各種補助金も計上し積極的に農業施策の充実を図る。畜産は家畜導入牧場の改良も行う。

◆林業は山林資源に恵まれている本市としては第一に林産物の搬出を容易にし、併せて造林事業の促進を図ることが最も適切と考え、県の助成を受ける林道の開設と民有林、市有林の造植とに一千四百四拾万円を計上した。
 ◆厚生援護関係は生活保護の万全を期すと共に保育所を昭和二十九年度より建設中のもので昭和三十年度の六月より開設し、入所児六十名を収容したい。又失業対策事業として就労者八千人を目標とし校庭整備や道路改良事業に就労させたい。市営住宅を十五戸

第七回 定例議会上提議案

- 議案第四号 昭和三十年度大野市一般会計歳入歳出予算について可決
- 議案第五号 昭和三十年度大野市特別会計国民健康保険歳入歳出予算について可決
- 議案第六号 昭和三十年度大野市特別会計土地区劃整理事業歳入歳出予算について可決
- 議案第七号 大野市役所出張所設置条例一部改正について可決
- 議案第八号 大野市職員定数条例一部改正について一部修正可決
- 議案第九号 大野市役所事務分掌に関する条例一部改正について可決

したいのであるが、市税の半額以上をさかねばならないので、これを制限し教育委員会費四百四拾六千余円。
 ◆小学校費一千三百九拾六万八千余円、中学校費六百五拾五万八千余円、公民館費三百五拾三万九千余円、公民館費二百四拾六万五千余円とし、小中学校の増設経費とをあわせて七千二百九拾九万三千余円を計上した。
 ◆市役所費については、その大層である職員給は高齢者の勧告退職希望退職者の募集、欠員不補充主義、支所機構の改革等により経費の削減を図り、合併本来の趣旨にそつよにするともに、職員現給の凸凹調整を図り今後職員整理配置図換について充分研究して行きたい。
 ◆消防は合併当時八五五名の全消防員を引継いだ消防組織の精鋭化を図り、旧組織を解団し八分団、二十七部四〇団員を以て補充し、団長指揮下に常設消防を新に設置し、分団長以下二十名と消防自動車三台を設置したい。
 ◆歳出予算については概説の通り市建設五カ年計画を出来る限り尊重して来た関係上、非常に高額な多額となつたが、これを実行にうつすには先決問題として歳入財源の裏付の大小如何に係つてくるが、本市の自己財源の大宗である市税と地方交付税を合せた一億五千万円は総歳出額の五六、八パーセントに過ぎないので、他の大半はその他の依存財源によるなければならない。この財源確保については特段の工夫と努力を払うは当然のこと、事業内容出来る限り特定財源を求められる様に工夫配し、自己財源の繰出量を最少限に食い止め、然らば歳出面の膨張から来る水増し又は買増過大な歳入は努めて避けた。

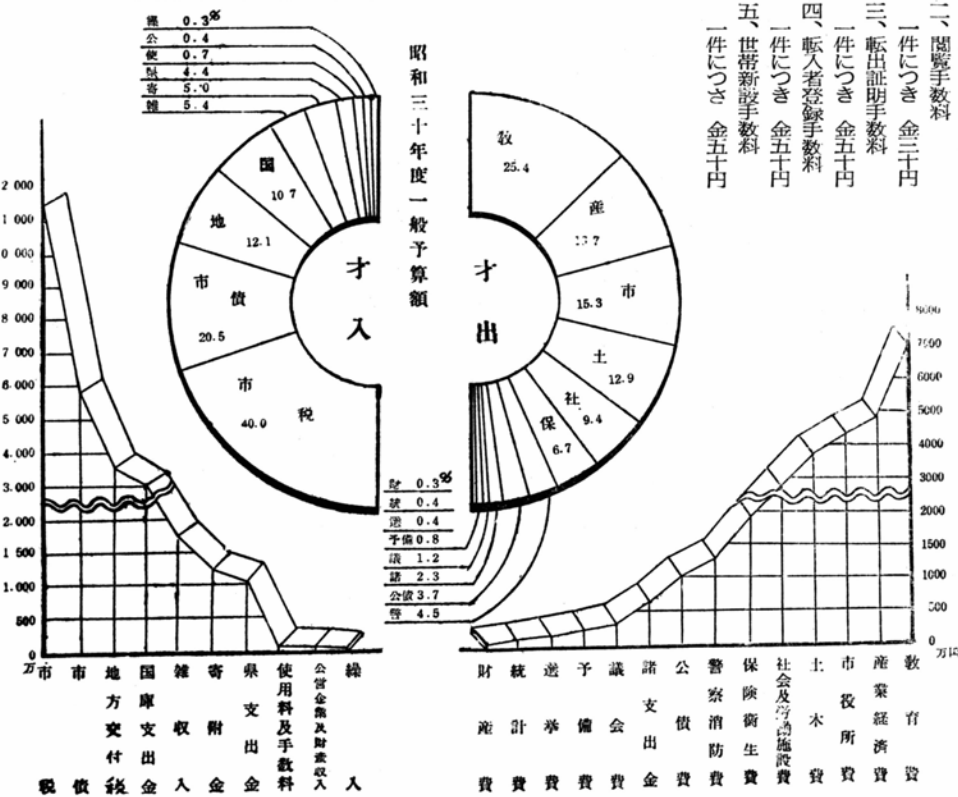
- 議案第十号 大野市特別職の職員給与に関する条例一部改正について一部修正可決
- 議案第十一号 大野市消防団設置条例改正について可決
- 議案第十二号 大野市消防団員給与条例一部改正について可決
- 議案第十三号 大野市手教科条例制定について一部修正可決
- 議案第十四号 大野市公民館条例一部改正について可決
- 議案第十五号 大野市営火葬場使用条例制定について一部修正可決
- 議案第十六号 大野市営住宅使用条例制定について可決
- 議案第十七号 大野市営引揚者住宅使用条例制定について一部修正可決
- 議案第十八号 大野市農業委員会委員の定数条例制定について可決
- 議案第十九号 大野市住民登録施行条例制定について可決
- 議案第二十号 大野市納税貯蓄組合奨励に関する条例制定について可決
- 議案第二十一号 大野市歳計現金預入先について一部修正可決
- 議案第二十二号 一時借入れについて可決
- 議案第二十三号 各地区国保運営協議会委員選任の同意について可決

市の手数料条例決る

今までは旧町村の条例によつて徴収されていましたが、今度市一元の条例が制定され四月より次のようになりまし。

- 一、諸証明手数料 一件につき 金五十円
- 二、閲覧手数料 一件につき 金三十円
- 三、転出証明手数料 一件につき 金五十円
- 四、転入者登録手数料 一件につき 金五十円
- 五、世帯新設手数料 一件につき 金五十円
- 六、主要食糧購入割当記入手数料 一件につき 金百円
- 七、自転車、荷車、リヤカー、籠札交付手数料 一件につき 金五十円
- 八、原動機付自転車籠札交付手数料 一件につき 金百五十円
- 九、公簿、公文書の謄本、抄本文は図面の謄写 一枚につき 金三十円
- 十、閲覧及び照合は一種類を一回三十分を以て一件とする。

昭和三十年年度一般予算額



市営火葬場の使用料改正

市営の火葬場手数料が四月より次のように改正されました。

- 一、満十六歳以上 一屍につき 金七百円
- 二、満十六歳未満六才以上 一屍につき 金五百円
- 三、満六歳以下 一屍につき 金三百円
- 四、死産児及流産児 金三百円
- 五、胎盤 一箇につき 金百円

カギは健苗と施肥

保温折衷苗代更に全般的に

過日山本博士の談にもあつた通り、原水爆の実験は天候を悪くしている。本年播種期の天気概況は気温の低い割に雨量が少く、不順さの度は昨年よりややりましたが、八、九月の好天気は望まれないようである。

四月は概してよく、梅雨入りは早くてその上りは遅く中休みはあるが梅雨型の気圧配置の期間は長いこうした条件の場合、苗代末期の苗いもち、本田の葉いもち更に極早稲の穂いもちが多発する。

最近農業の発達に依り粟刈撤布による防除効果も極めて顕著であるが、稲が経済作物である以上出来るだけ耕種的な予防法、即ち健苗の育成、肥の改善によつてこれに対処するのが本筋であろう。

市職員二二四名決る

過日の議会において市の職員の定数が一部変更し四月一日より次の通りとなります。

一、市長の事務局の職員 吏員 二二人、その他の職員 二人 計二五〇人

二、議会の事務局の職員 局長一人、書記二人、計三人

三、教育委員会の事務局の職員 職員一〇人、その他の職員三

四、選挙管理委員会の事務局の職員 書記三人

五、監査委員会の事務局の職員 書記一人

六、農薬委員会の事務局の職員 書記一人

七、公平委員会の事務を処理する職員 事務職員一人

▲合計 二二四名

補助金は昨年並か

市管内設置目標は十万八千坪であり、油紙の購入申込量は四万一千坪程度であり、需用期に入りますと値上りや、粗悪品の出廻りも予想されるので早急に農協へ注文下さるようお願いしたい。

国庫補助金については、農林、大蔵両省が交渉中であり、確定的な事をお知らせする状況になっていませんが、去る市議会に於て保温折衷苗代設置補助金六〇万円が決定されましたので、市補助と合せて昨年(坪当二十一円五十銭)程度の補助金は交付される見通しである。

年度末滞納整理実施

五月一日より末日まで滞納整理を実施します。未納の方は延滞金の「カサマ」ぬ内に納入しませう。

本年度の商工課

行政計画

【中小企業振興対策】

一、商店街協同組合組織の奨励と既存組合の育成、商店街協同組合を結成せしめ、店頭装飾の改善、夜間照明の適正化等を図り商店街の繁栄を期せしむる目的を以て一定額の助成をなし、既存組合に対してもこれの育成に努める。

二、織物工場経営合理化促進 当市の主要産業たる織物工場経営の合理化と発展を促進するため原系生産関係商社を訪問し織物経営に積極的協力を懇請し以て織物の発展を期す。

三、工場商店の経営診断 工場商店の経営に關し夫々専門家を招き経営状況を診断し、有効な助言と適切な指導を行い過去の隘路を打開して繁榮せしむる機を創める。

四、郷土土産の販路拡張 当市の特産品である合板スチー等の木工製品を始め各種土産物の販路を拡張するため福井県東京、大阪兩事務所を依頼、宣伝に努める

五、博覧会見本市等の共同出品 本市の特産品を内外に紹介し販路を拡張するため、全国各地で本年度中に行われる博覧会見本市等に県下七市で共同出品する

六、特産物品の考案奨励 市に適合した特産物(特に手軽な土産物形式のもの)を工夫考案方を奨励し考案者に一定額の助成をなし、新生産品の発見に努める。

七、技術者の養成 市産業の主たる織物、木工等の製造技術の昂揚を図るため関係組合や公民館と連携、専門技術者を招き講習会その他実地指導等を行い優秀技術者の養成に努める。

八、青少年の指導育成 商工業に従事する青少年に対し、大野商工会議所と相連携し商業道德の昂揚、企業経営並に経理講習会を開催し、青少年の育成にあたる。

【中小企業金融対策】
一、中小商工業者資金融資制度 中小商工業者の金融資金緩和策のため、市内金融機関に金壹千万円を預託する。預託を受けた金融機関は別に定める要綱に従い自己資金千円を如え合計参予千円を基金とし特別小口融資制度を実施する。

【納税貯蓄組合には奨励金が交付されます】
何事なすにもまず計画が必要、大建築は基礎工事が入念でなくてはなりません。今日文化生活を営むには生活の合理化とか、計画化が叫ばれている。近年のように税金が収入の相当分をしめ、生活と

【越美北線普及促進】

お百姓さん ご苦労さん



三月十日大野市市民館で既報の昭和二十九年産米供出完遂報告式及び優待農家表彰式十九年米作多収奨励金入賞者の表彰式が午前十時から県門田農林部長を始め多数の来賓が参列して行なわれた(写真は表彰式場)

二、商社資金預託の奨励 織物工場経営者の運転資金金融緩和の一策として関係商社に対し、商社資金中より一定金額を市内各金融機関に預託方を懇請し実現する様努力する。

多年の懸案である越美北線の開通促進は、単に越美北線開成同開会依存するのみならず、当市の生命線たるに鑑み単独運動としてたがまず選出国會議員と強く連携、工務省工に關する猛運動をなす。

【工場誘致対策】

本市将来への発展政策の重要基木である工場誘致問題の必要資料蒐集に努め特に
一、石灰岩利用工場誘致、当市の山間部に埋蔵する石灰岩の量の調査研究をなし、これを原料とする工場誘致に努める。
二、その他西谷村水沙部落受人対策として工場誘致に努め、移住民の不安除去に努める。

【観光事業振興対策】

産業と観光は常に密接不離の關係にあるところから各種観光諸主体と緊密な連携のもとに
一、白山国定公園整備促進 白山国定公園の整備方を政府に陳情する。
二、亀山公園美化 亀山公園の道路を整備し桜紅葉等の植樹をなす。

し、市営公園としての美化を図る。
三、観光宣伝刊行物の発行 広く本市の観光を県内外に宣伝紹介するため、絵葉書、パンフレット、リーフレット等の刊行物を発行して宣伝に努める。

【関係機関との連絡】

一、全日本観光都市連合会
二、中部日本都市産業協同会
三、中部日本観光協同会
四、北陸都市産業観光協議会
五、福井県都市産業協議会
六、福井県観光連盟
七、福井県診断協会等と強く連携し本市発展に寄与せんとす

【大野商工会議所との連携】

大野商工会議所と強く連携し工業の発展を促進する。

もれなく投票を!

四月二十三日(土曜日)は投票日

福井県知事選挙
福井県議會議員選挙
福井県教育委員会委員補欠選挙
四月二十三日には福井県知事、福井県議會議員及び福井県教育委員会委員補欠選挙が行われます。同時に三つの選挙ですから投票用紙を間違えずに投票して下さい。投票用紙は次の色刷りになっております。

- ▲黒刷り県知事選挙
- ▲赤刷り県議會議員選挙
- ▲青刷り県教育委員会委員補欠選挙

市常設消防団員募集

一、申込期間 四月十日より四月十五日まで
二、年齢 満十八歳より三十五歳までの男子
三、区域 市役所より一軒以内に住所を有するもの及び一軒以内に住居可能なもの
四、採用方法 学科試験、身体検査及び面接
五、採用予定人員 一八名
六、願書受付場所 市役所総務課人事係
七、試験予定日 四月二十日

市辞令

- 下庄出張所 主事 鈴木 与平
- 乾側出張所 書記 加藤 弥市
- 小山出張所 書記 矢田 初榮
- 上庄出張所 主事 山田 涉
- 富田出張所 主事 常宮 謙信
- 阪谷出張所 主事 森 亮祐
- 五箇出張所書記田刈利三石衛門各通(與書) 主任を命ずる

四月一日付

- 主事 藤堂作衛 (阪谷支所長)
- 主事 山田庄右衛門(建設課長)
- 全 石田治郎兵衛(下庄支所長)
- 全 飯田房吉(乾側支所長)
- 全 畑中吉平(小山支所長)
- 全 加藤正信(上庄支所長)
- 全 松田庄一(富田支所長)
- 全 山川英代治(五箇支所長)
- 書記 佐々木時和(総務課)
- 書記補 水元艶子(建設課)
- 同 松浦照子(商工課)
- 各通職に依り職を免する(三月三十一日付)

田園都市の発展に貢献 加藤さん一位に

農事研究団体実績発表大会

農事研究団体の活動を一層充実発
展させる目的で、三月十一日午前
九時から大野公民館に於て貴重な
体験発表大会が行われた。

- ▲稲作りと農家経営 小山興農会
加藤七郎 (大野市新庄)
- ▲不動堂農事研究会のあゆみにつ
いて 不動堂農事研究会 武内
政吉 (不動堂)
- ▲水稻の品種比較試験 尾永見農
事研究会北山篤 (尾永見)
- ▲有畜養と自給飼料について
上庄農業研究会 村西幸一 (中
掘)
- ▲土地改良について 上中野親耕
会 広野利隆 (上中野)
- ▲稲の生育について 上中野親耕
会 明石一夫 (上中野)
- ▲大麦の多収穫は 上庄農業研究
会清水清一 (森政領家)
- ▲七割自給飼料による養鶏 大野
養鶏研究会宮沢庄一 (上神明)
- ▲自給飼料について 下庄自興会
土本弥右衛門 (庄林)
- ▲苗の活著について 田野交友会
榎一男 (田野)
- ▲青籾について 下庄自興会 鈴
木博 (上中野)



良組合を結
成し、暗キ
ヨ排水工事
区画整理を
行い新設農
道を設け緑
道を設け緑
大に牧草を播
付けた。
表土地改良に
は、頼り得た余
真酪農経営を
取り入れた
清水清一氏
は、大麦の多
収穫は品種
の選択が第
一条件とし三年毎に品種を更替
た。

- えて来た。氏の試作の結果は次の
通り
- ▼会津七号三石四斗 ▼北陸一号
三石五斗 ▼関取三号四石五斗
昭和二十九年の反収である。
 - 下庄自興会土本弥右衛門氏のサイ
ロ建造により青刈大麦青刈大豆の
諸込(昭和二十九年四月二十八日
)が成功した事は特に注目を引き
た。
 - 午後四時発表大会が終り、審査の
結果
 - 第一席「稲作りと農家経営」
小山興農会→加藤七郎氏
 - 第二席「七割自給飼料による養
鶏」大野養鶏研究会→宮沢庄
一氏
 - 第三席「青籾について」
下庄自興会→鈴木博氏
 - 第四席「大麦の多収穫は」
上庄農業研究会→清水清一氏が
決定、市長から表彰状が授与され
て四時三十分散会した。

郷土の守りは植樹から 先ず造林面積の拡大

今年もまた緑の羽根の季節に入つて来ましたが、この機会に本県の造林面積はどんな状況にあるか統制資料によつて見ますと、県下全林野面積の約 割程度しかなく、全国平均が約三割で九州、近畿その他造林先進地では六・七割に達しており、山林のほとんどが針葉樹林で農山村の経済自立と産業振興のため山地は最大限に利用され

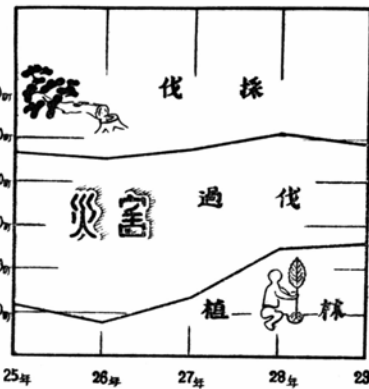
ており、山林のほとんどが針葉樹林で農山村の経済自立と産業振興のため山地は最大限に利用されています。

れており格別の補助金も出していません。尚次に造林費が非常に高くなり、特に苗代金はどうしても一三円になり表白木の苗代代に比較すると約倍近くになっています。これはやはり自家育苗を奨励して自分の山林に使用する苗木は自分の手で育てる様にすればよいと思

います。自家育苗で行けば品種的にも安心出来、山地活着率ももう少しとなり苗代金も三円一三二一十程度で上り従つて造林費の軽減を計ることが出来るので正に一石二鳥の利徳があり造林意欲の向上も容易になる事と思ひます。

次に緑の羽根募金運動も当市役所を始め各種団体を通じて皆様の御協力をお願いしていますが、果してこの金がどんなことに使用されて居るのでしょうか。

- 募金一、二九、〇七〇円(羽根一、二、九〇七本) 処理代金
- ▲支出の部
- 羽根代金二八、七〇〇円(羽根一〇、〇〇〇本代、一本二十六錢一運賃含む)
- 奉仕者手当 一〇五、九九八円
- (羽根二〇五、九八八本分一本一円)
- 通信運搬雑費 二八、七四九円
- (苗木運賃及び切手協議会費等)
- 学校林造成経費 四四六、八六八円(協力者一九七校又は役場に交付)
- 地方支部緑化経費九九、九九七円
- (協力者へ地方支部へ交付)
- 公共施設緑化用二九三、七五五円
- (苗木無償交付)
- 緑化フィルム補助一五、〇〇〇円(今庄小学校へ交付)
- 学校植林コンクール 一三、七六〇円(白山中 学外五八選) ボスター募案
- 二、三〇〇円(武生東小学 校外九八選)
- 計一、一一六、七八〇円
- ▲計一、一一六、七八〇円
- ▲残金一六、一〇二円
- (緑化運動用 苗代金充當見込)



収入の部

- 昭和二十九年年度「緑の羽根募金」収決算(緑化推進委員会)
- ◆合計一、二九、〇七〇円
- (クラブは市の山林状況)

国保運営協議会 委員決る

- (欠員の分)
- 欠員の国民健康保険運営協議会委員に左の人々が選任された。
 - (カソコ内は担当地域)
 - 公益代表士屋架(小山地域国民健康保険) 被保険者代表中村甚蔵
 - 公益代表西川文右衛門(鹿側地域国民健康保険) 同井野部裕
 - 同小林利右衛門(全) 同松田操(上庄地域国民健康保険) 同兼井彦左衛門(全) 同安川清(五箇地域国民健康保険) 同福津忠右衛門(阪谷地域国民健康保険) 同原健男(全) 同大原政治(富田地域国民健康保険) 同岸本達也(全) 同神田一栄(全) 被保険者代表林鶴平(全) 公益代表筒井金作(下庄地域国民健康保険) 同石田政治(全) 被保険者代表八瀬士松(五箇地域国民健康保険)

黒谷観世音 開扉日程

四月十八日より
全一、二百まで
黒谷観音開扉

(午前八時より
午後五時三十分まで)
四月十七日午前 上棟式
午後一時より 餅手渡し
音楽 稚子行列

全期間中 深井子安観音開扉
飯降山奥の院観音開扉
飯掛延命地藏開扉

全期間中各種奉奠もある見込みである。

往昔の城址又は番所跡

勝原山(將監山)

大野市の観光地といえは九頭竜、真名峽、鳩ヶ湯、六呂師ヶ原等を数えませんが、将来はもつと大自然で大仕掛のものが紹介される時が来ると思ひます。



大野の郷土の処どころ

子喰火口原などそれでありませう。現在は道もなく大衆の観光は不可能であります。将来白山国立公園、又は荒島園定公園が設置される時が来るならば、その時こそ天下に宣伝されねばならぬと思ひます。

こそそれでありませう。勝原山(將監山)とも称しています。大野から美濃道で唯野に出て、第一、発竜所、三隈峠を過ぎますと佐藤茶屋に着きます。この茶屋の背面の山がそれでありませう。往昔一宮將監(斯波氏の部将)、林淨恵(朝倉氏の部将)、山路將監(柴田朝倉氏の部将)、山路將監(柴田勝家の臣)等が城を構えたところといわれています。斯波、朝倉の戦場となつたこともありませう。

守るに易く攻むるに難く、真に難攻不落の要害でありませう。今は道も絶えてありませんが頂上に登り仰げば荒島の雲峯をはじめ、打波の連山雲表に響え、俯すれば九頭竜の激流岩を嘯み、第一、第二の発

龍所、その麓にいらかを連れ、西北は遠く大野盆地を一瞬の内に大きく大野市唯一の絶頂でありませう。他日山上まで観光道をつけることが出来るならば、さぞや千客万来の盛況を呈すると思ひます。佐藤茶屋のところには、藩政時代番所がありました。なるほど番所開所の地としては申分のないところだす。荒島岳と勝原山のかき合せで穴馬又は美濃飛驒に行くにはどうしてもこれを通らねばなりません。徳川の初期頃は常設番所でありましたが、正徳時代からは必要な時にのみ、大野藩が設けたものであります。必要の時というのは、凶作等にて米が欠乏しているのを打止めるために設けたのであります。

当時大野藩には草波、花山、若生子、笹俣、勝原の五方所に番所を設けました。が、初めは四方所は大野領であるから容易に設置出来ましたが、勝原は初め大野領であり



(写真はい己淵首切岩)

衛方に参り、米留番頼み候ところ次兵衛申候は大野様の儀は御地頭同様にご存候故、御手匠に相成候儀は、致したき事に候。別して此度町役人衆御出願の事に候故唯今よりきびしく番いたし、米一倍にても相通し申しまじく、急度御請台申候。九月二十六日二番下庄屋次郎右衛門土護として酒五升、肴一種、



写真上=三尊繪 中=南無仏 下=親覺 木像

開山は(蓮如上人)長松丸さま

松丸 龍松山伝心寺

蓮如上人は卓絶した教化力を持たれた方でありました。文明三年以後数年にして

力に卓越されていますと同時に勢力範囲の方でありました。至るところに落胤を残されたようでありませう。何でも落胤といわれるのが八十数人もあつたといふことですがここに申上げる松丸村の龍松山伝心寺の開山も長松丸と申して上人の落胤の一人であるようです。

当山の由緒によりますと「上人北陸御遷化のみぎり、井郷村(今の松丸)の与三石衛門屋敷の岩に腰をかけた休ました。その近くに無住の一寺がありました。村の役人共は上人の教導に感じ、御子長松丸をこの寺に迎えたき旨申上げた。上人は心よく承せられ、自作の

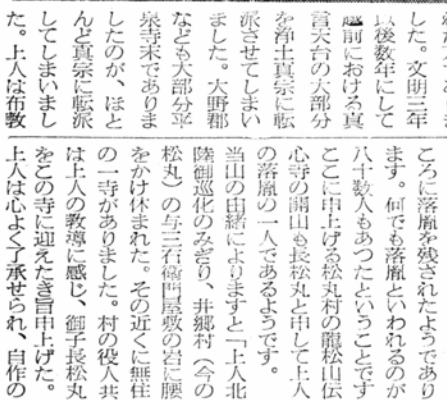


油揚三十持参致し、勝原村三役人へ振舞、米留の儀委しく相願候処、次兵衛始め三人共、堅く請台以、一堅い約束は出来たが、中々うまく行かなかつた例は西勝原ばかりでなく、東勝原にも沢山ありました。



(写真真は勝原山頂の五輪塔)

設置出来ましたが、勝原は初め大野領であり

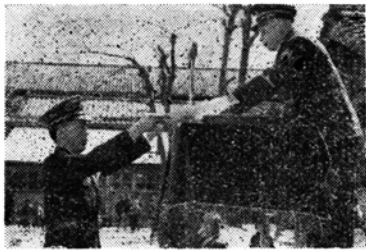


親覺御真影を彫見としてたまわり以後吾に会いたく思つたならば、この御真影を拜し奉るべし。聖人御苦勞の程を忍び奉り、この寺を再興すべし」と記してあります。以前早泉寺末であつたのが、これより真宗に転じたことになつていませう。開基は越前守護朝倉景景の臣、山下刑部卿(法名善西)といひます。多分この人が御堂を寄進したものでしょう。親覺真影木像は身長二尺餘の座像であり、毎年正月元旦開扉されませう。この外に当山宝物として聖徳太子兩無依の木像があります。当山八世祖師が能登より入山の際、所持したもので、太子一歳の時、兩無依と称せられた姿であります。毎年四月、百より三百開扉し、太子講を厳修されます。今一つの宝物は釋迦三尊の繪像でこれは開光(兼取司)の筆で、蓮糸の織物に画いたものといわれています。(上の写真は本堂)

市消防 躍進的組織に 新団員は四百五十九名

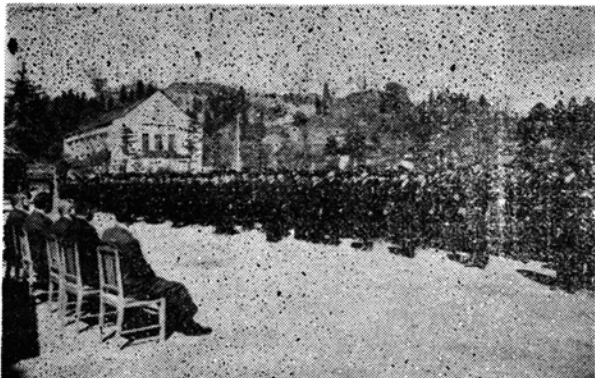
市の消防は合併とともに八五五名の消防団員を引継いで来たが、組織の刷新化を図るため、三月三十一日午前十時より有終西小学校校庭に於て解団式が行われた。その式場大谷惣左衛門氏(四十年勤続)大野市寺、高場久吉氏(三十八年勤続)大野市小矢戸に特別表彰。六年十五年が三百三十七名、十六年十五分団が百四十七名、二十六年以上三十五名に対し感謝状と記念品を贈った。尚新消防組織は八分団、二十八部四十九名の団員の外新任団長指揮下に常設消防防自動車三台の常設消防が設置、四月一日指令が交付された。新消防組織は左の通り

消防團の組織



写真(上) 斎藤消防長より感謝状を受ける筒井団長、下 有終西小学校校庭に於ける解団式

常設分団	第一分団	第二分団	第三分団	第四分団	第五分団	第六分団	第七分団	第八分団
部長	部長	部長	部長	部長	部長	部長	部長	部長
班長	班長	班長	班長	班長	班長	班長	班長	班長
消防員	消防員	消防員	消防員	消防員	消防員	消防員	消防員	消防員
二〇名常勤	七七名	六二名	三二名	四七名	六二名	六二名	四七名	四七名
	大野非常勤	下庄非常勤	乾側非常勤	小山非常勤	上庄非常勤	富田非常勤	阪谷非常勤	五箇非常勤



新消防団 幹部決る

消防団長 筒井金作
副団長 山本武作
同 土屋 栄
第一分団長 高瀬邦夫
第二分団長 王村正弥
第三分団長 飯田久次郎
第四分団長 永田正元
第五分団長 板橋研司
第六分団長 佐藤 善兵衛
第七分団長 山 川 達也
第八分団長 林 達也

大野市教育委員会委員選挙
告示 四月十五日
投票 四月三十日

し易い水田、冷水灌漑田、其の他展示圃で効果のあつた附近の水田等

(乙) 効果の出難いと思う水田、肥鉄土、山の赤土の多量客入した水田(四、五年経てば効果が出るが客土は以上の効果が大い)普通四石以上とれる水田、洪水などで泥土の沈積した水田等、猶苗代では「ころび苗」が多くなるので今年に使わない事。

三、いつ施せば良いか
元肥で而も植付の約一週間前に施すのが最も適當で、植付の直前に施すと甚しく植え傷みをして活着が悪くなる。従つて荒起前でも荒起後でも結構だが、浅水にして全面に施すべく土と混ぜた方がよい。追肥に施すのも効果はあるが、少し分けつて抑制することもある。追肥の時期は普通に肥料用石灰を施している時期で概ね次の

一、どんなな水田が良くくか
二、どんな水田が良くくか
三、いつ施せば良いか
四、分量はどれ位か
五、肥料との関係
六、混合して良いものか
七、その他

撒布しなければならぬ出来にもなり易い上に、それぞれ比重が異なるので均等に混ぜ難く、非酸石灰は分量も多いから別に施す方がよいと思う。

(ロ) 混合して悪いもの、アンモニヤ性の窒素質肥料や水溶性の燐酸を含むもので硫酸、塩安、下肥化成肥料、配合肥料や過石と混ざらない。

七、その他
昨年の成績では明確ではないが、種重型で耐肥性品種に比べて穂数型で耐肥性品種の方がより効果が期待出来る様である。今年は展示圃なども多く県下に設ける予定であるが、一般農家も試験的に使つてみて効果を確かしてから大きく採り上げる様な方向に進むのが良いと思う。その他細部の点は最寄りの農業改良普及事務所か農業協同組合で御尋ねして下さい。(農業改良普及事務所)

森羅万象悉く蘇るとき、
新大野の第一の基礎は固められ今や躍進的發展を期して工業都市、田園都市

山岳都市、そして観光の市として立地条件を備えた大野市が一葉のメの如く伸行く。この青年都市は皆さまたらの建設的御意見を蓄つて御寄せ下さることにより育てられて行くのであります。市育成の御意見を御寄せ下さる様御願ひします。



山岳都市、そして観光の市として立地条件を備えた大野市が一葉のメの如く伸行く。この青年都市は皆さまたらの建設的御意見を蓄つて御寄せ下さることにより育てられて行くのであります。市育成の御意見を御寄せ下さる様御願ひします。

先ず土を作りましよう

珪酸石灰の使い方

福井県下の秋落水田は勿論、一般の普通水田に於いても非酸石灰の普通水田に於いても非酸石灰を施すことによつて飛躍的な収量の増収を示すことが判つたが、初めのことでもあるので次の点を良く注意して誤りのない様にして下さい。

一、どんなな水田が良くくか
二、どんな水田が良くくか
三、いつ施せば良いか
四、分量はどれ位か
五、肥料との関係
六、混合して良いものか
七、その他

元肥で而も植付の約一週間前に施すのが最も適當で、植付の直前に施すと甚しく植え傷みをして活着が悪くなる。従つて荒起前でも荒起後でも結構だが、浅水にして全面に施すべく土と混ぜた方がよい。追肥に施すのも効果はあるが、少し分けつて抑制することもある。追肥の時期は普通に肥料用石灰を施している時期で概ね次の

一、どんなな水田が良くくか
二、どんな水田が良くくか
三、いつ施せば良いか
四、分量はどれ位か
五、肥料との関係
六、混合して良いものか
七、その他